

第55回 滋賀県書き初め展覧会

小一 山本 好来
ふでのハネが生かされたゆったりと力つよいさくひん。



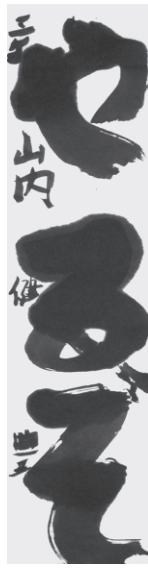
小二 木村 知勢
筆のハネを使い、大きくのびのびと書きぬいています。



小二 宇城 美緒
すみのにじみが美しく、ほのぼのとした線もよい。



小三 山内 健豊
やっつけて下さい。とっても楽しみにしています。力作。



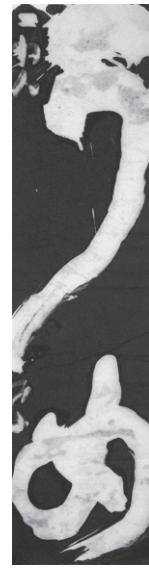
小三 富永 敦大
大きな筆の先が、とてもスムーズに動いています。



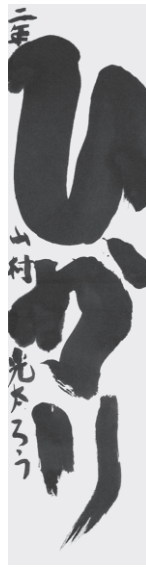
幼 木村 瑞樹
ゆったりと、おおらかなさくひんになりました。



小一 高木 端世
大きくゆったりとしたうごきでのびのびとかけました。



小二 山村光太郎
うすいすみをたっぷりつけ心のこもった線が美しい。



小三 永阪 優月
一本一本の線を、かみしめながら、リズムカルです。



小三 小林 澄
筆先のつき立てがあざやかで、リズムがすばらしい。



小三 田中 寿菜
墨が少くなっても、とてもねばり強く動けました。



幼 久保 佳大
むだなちからがなく、すっきりとかけたさくひんです。



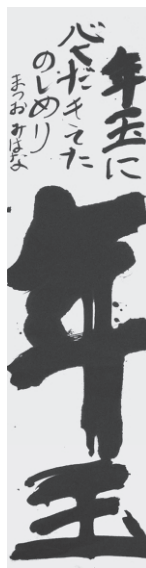
小一 小坂瑠希明
ふで先をうまくつかって、すっきりしたさくひんです。



小二 亀井 寧々
筆をしっかりと立てて、かかれた線がつよく美しい。



小三 松尾みはな
線が、くっきりと引けて、上の小字がすてきでした。



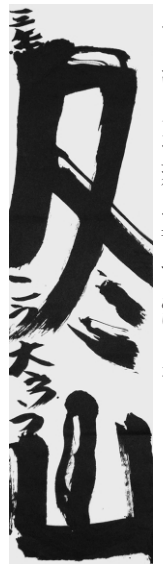
小三 竹内 凜
グイグイと力強く動くことができました。みごと。



小三 野澤 滯
とてもびのびゆったり動けていて、気持ちよい。



小三 上原混太郎
とても良いリズムで最後まで書きつらぬきました。



小四 串田 詩歩
長い毛先の筆をよくいかし、のびのびと楽しく書きました。



小四 洲鎌 哲
口ウ書きの特徴をよくいかしながら、全体をよくまとめました。



小四 角谷 隆浩
大きな動きで、しっかりと筆も使えています。



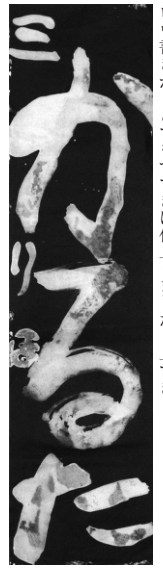
小五 西澤 凜香
墨量も多く、良くいくこんでスピード感ある大胆な作品。



小五 上田 舞音
少し薄めの墨をたっぷり使い、ゆとりある動きになりました。



小三 上田 莉歩
口ウ書きが、とてもすてきに仕上がりました。上でき。



小四 林 隆雅
筆先の動きがしっかりと、安定感のある作品となりました。



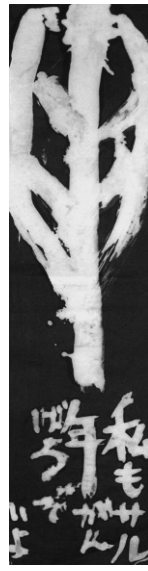
小四 黄瀬ミハナ
墨色の美しさと、全体を一貫させた書きぶりがよい。



小四 谷口ひより
むだのない線でありながら紙面をよくいかして書きました。



小五 高木 惟世
困難な口ウ書きで「申」をこなし迫力ある作品となりました。



小五 早石 衣織
太い線の中に細い線を組んでいて豪快です。



小四 井上 愛貴
筆先のバネをよくいかして、思い切りのよい線で書きました。



小四 山村ほのか
いろいろな線の組みあわせが楽しく、文字の大小もよい。



小四 青木 康亮
文字の形や大きさに工夫が見られ、強い気持ちで書きました。



小四 平居 梓穂
柔軟な筆づかいで、大きな動きの作品となりました。



小五 鵜飼 咲奈
くい込みのある線と適度なカスレで安定したものとなりました。



小五 葛原 愛月
漢字と平かなをまじえた新鮮な語句。線の勢いもあります。



小五 水谷 匡寿
確かな筆づかいで、バランスよく書くことができました。



小六 山本 真央
細線ながら深く、さわやかな感じの秀作です。



小六 野崎 愛彩
大小の文字配置と多様な筆づかいがよく、特に白が美しいです。



小六 坂尻 泰治
語句のごとく雪が飛んでいるようなスピードが感じられます。



中一 溝口 紗月
口ウ書きの割れやカスレを最大限活かした「申」古代文字。



中二 栢木 桃花
毛の長い大きな筆のバネを効かせて躍動感溢れる傑作。



小五 松崎 結衣
字くばりの良さと素直な線がまとまりを作り出しています。



小六 福永 貴啓
ふくらみのある線、鋭い線をうまく組み合わせ変化に富んでいます。



小六 片岡 明優
ゆったりと大らかな書き振りに感心しました。



小六 今城日菜子
お時間かけての口ウ書きの美しさを、楽しさが伝わってきます。



中一 田村 暁子
大きな筆で紙面一杯に躍動し気宇壮大で、豪快な作。



中二 久門 ゆめ
行意の流れ良く、一貫したりズムで書き切つて爽快。



小五 早川 明
のびやかな動きで、そう快な雰囲気作品。



小六 佐藤 蒔呼
墨量豊かでリズムよく終始一貫した自信作です。



小六 港 俊介
力強い線で一筆一筆でいねいに書きました。



小六 中村 朱里
「申」の古代文字を楽しく大らかに書きました。



中一 竹田未耶美
筆の抑揚が巧みな行書作品。墨のニジミも美しい。



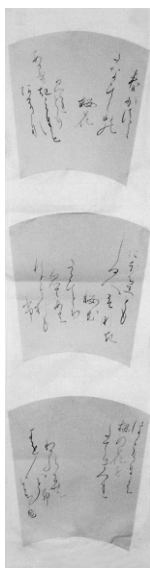
中三 川勝 千慧
千支の「申」を一気に阿成に書き墨のニジミと割れが美しい。



中三 岡野 莼摘
柔かい筆のタッチで伸びやかにまとめられました。



高一 岸田 日菜
三枚の扇面の散らし方に変化をつけ気分よく書けています。



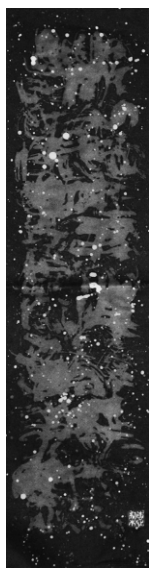
高一 田中 愛莉
淀みない連筆で堂々と書き上げ一貫している。



高二 山田ひかる
ろうけつ染めの技法を書表現に昇華させた意欲作。



高三 堀田 恵梨
漆黒の間に浮かび上がる美しい青がリズムを奏でます。



一般 田中 希京
ロウ書き乍ら筆のタッチが心地よく、細線が利いています。



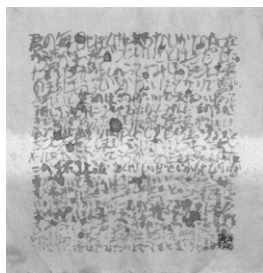
高一 宮城 千晶
「豊楽」篆書体を自由に造形し楽しさいっぱいです。



高一 永坂 純奈
筆圧の強弱や太さに変化をつけ生き生きと書き上げています。



高一 木村 海斗
淡い二色の紙に淡墨で多字数を一貫して書き、美しい。



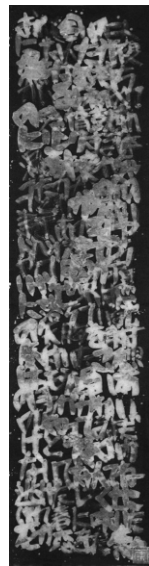
一般 古迫 司
鮮やかな筆遣いと墨量の変化が全体を統一しています。



一般 岩下 淨子
行草の動きを完全にマスターして自信満々の作です。



高一 大矢 奈々
ロウ書きの楽しさが伝わってきます。文字の色合いがよい。



高一 山岸 優伽
豪快な筆致で思い切り書ききり胸のすくような作です。



高二 渡辺 千夏
木簡の書をよく研究し、文字の大小が効果的な秀作。



高二 岸本 真歩
篆書体で「徳寿」。随所に配された渴筆が効いています。



一般 梶原 明美
長鋒筆を巧みにあやつり、呼吸に合った動きが鮮やか。



一般 中川 寿子
白を充分とった造形と、静かに心を込めた造形と、線は独特。

